

ヨード造影剤の使用(注射)の説明書「CT」

1. 目的

今回実施する検査では、より詳細な情報を得るためにヨード造影剤という検査薬を使用します。

CT検査は造影剤を使用しなくても行えますが、疾患によっては正確な診断ができない場合があります。

2. ヨード造影剤とは？

ヨウ素（ヨード）を原料とする液体で、血管や臓器の様子、病気の広がりを正確に評価するのに役立ちます。CT検査は造影なしでもできますが、造影剤を注射しながら検査することにより、更に詳しく体の状態を知ることができます。

造影剤は通常、投与後24時間で投与量の93～99%が腎臓から尿として排泄され、最終的には体内には残りません。

3. 副作用や発生頻度について

造影剤の安全性は確立されていますが、まれに副作用が起こることがあります。

〈軽い副作用〉吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・くしゃみ・発疹など(100～200人に5人以下)。

これらの症状は自然に軽快していきませんが、症状の程度により薬による治療を行うことがあります。

〈重い副作用〉呼吸困難・意識障害・血圧低下など(2.5万人に1人)。

その症状に応じて適切な対応をいたします。症状・体質によっては非常に稀ですが約40万人に1人の割合で死亡する場合があります。

[参考文献 日本医学放射線学会誌 第65巻 第3号(2005)]

ヨード造影剤と一部の糖尿病薬を併用することで、副作用が生じることがあります。お薬によっては、内服方法について指示を出すことがあります。

4. 造影剤投与について

静脈から注射をします。造影剤の注入に伴い、体が温かくなることがあります。

造影剤の注入は通常の点滴より急速に行いますので血管外に漏れることがあります。この場合には注射した部位が腫れて痛みを伴うこともあります。通常、自然に腫れは吸収され消失しますが漏れた量が大量である場合は処置が必要となる場合があります。

5. 備考

合併症・偶発症が起きた際はそれに対する最善の処置、治療を行います。

副作用のリスクが高い方は、検査担当医師の判断で造影剤を使わない場合もございますのでご了承ください。

※同意した場合でも実施前なら撤回することができます。

※疑問に思うことは、質問することができます。

ヨード造影剤使用についての問診票・同意書

1. これまでに造影剤を注射して検査を受けたことがありますか？
なし ある：MRI CT 胆のう・胆道造影 尿路造影 その他（ ）
 →「ある」の場合 そのとき「帰宅後も含めて」副作用がありましたか？
なし ある：吐き気・嘔吐・発疹・くしゃみ・呼吸困難・胸痛・血圧低下
 その他（ ）
2. ご親族に造影検査で具合が悪くなった方はいますか？
なし ある わからない
3. 飲み薬や注射、食物でアレルギーをおこしたことがありますか？
なし ある→アレルギーを起こしたものは何ですか？（ ）
 →どのような症状が出ましたか？（ ）
4. 気管支喘息（ぜんそく）といわれたことがありますか？
なし ある いつ頃ですか？（ ）
5. 腎臓の働きが悪い(腎不全) といわれたことがありますか？
なし ある いつ頃ですか？（ ）
6. 糖尿病のお薬を飲んでいますか？
なし ある 薬剤名：（ ）
7. 心臓の病気や甲状腺機能亢進症といわれたことはありますか？
なし ある（ 心臓病 甲状腺機能亢進症 ）
8. 心臓ペースメーカーやICDを埋め込んでいますか？
いいえ はい
9. 現在の体重を記入してください。（ ）kg
10. 女性の方はお答えください。
 ★妊娠中である いいえ はい ★授乳中である いいえ はい

※授乳中の方は造影剤投与後、48時間は授乳を避けてください。

患者さんへの説明確認書

多摩南部地域病院長 殿

別紙【ヨード造影剤の使用（注射）の説明書「CT」】において造影剤使用の必要性和造影剤投与により起こり得る合併症・副作用について患者（ ）さんに十分説明いたしました。

(西暦)

年

月

日

主治医

同意書

私は、ヨード造影剤に関してその必要性和それに伴う危険性等について十分な説明を受け理解しましたので、ヨード造影剤の使用に同意します。

また、緊急処置が必要となった場合は、多摩南部地域病院で適宜処置を受けることに同意します。

(西暦) 年 月 日

(患者本人の署名)

※患者さんが未成年(同意能力がない)の場合、続柄を記入の上、保護者(代理人)が署名してください。

日付

確認者